

国際ロータリー第 2780 地区

# 横須賀北ロータリークラブ週報

2018～2019 年度



インスピレーションになるう

**例会日** 毎週火曜日 12:30～13:30  
**例会場** かながわ信用金庫追浜支店 3階 横須賀市追浜本町 1-28  
 TEL 046 (866) 1515  
**事務所** 鈴木ハイツ 2F 横須賀市追浜町 3-22-202  
 TEL・FAX 046 (866) 1801  
 URL: <http://www.yokosukakita-rc.jp/>  
 E-mail: [info@yokosukakita-rc.jp](mailto:info@yokosukakita-rc.jp)



会 長 竹永 薫 副 会 長 品川 昌義  
 幹 事 高田 源太 会報委員長 芹澤 達之

第 2732回 2018年 8月 28日『火曜日』横須賀北RC

**点 鐘**  
**合 唱** 「横須賀北ロータリークラブの歌」  
**司 会** 竹永 薫 会長  
**ゲスト** 国際ロータリー第 2780 地区  
 ガバナー 脇 洋一郎 様  
 第1グループガバナー補佐  
 加 藤 元 章 様



**ビジター**  
**誕生日祝**  
**入会記念日のお祝い**  
**「出席報告」**

(本日)8月28日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
25名	25名	20名	80.00%	0名	20名	80.00%

(前々回)8月7日

総数	出席対象数	出席数	出席率	メイクアップ	計	修正出席率
25名	25名	17名	68.00%	3名	20名	80.00%

### 「メーカーシップされた会員」

8/22 横浜西ロータリークラブ 石井伸二会員  
 8/25 米山奨学セミナー 竹永 薫会長 高田源太幹事  
 8/27 横須賀南西ロータリークラブ 福嶋義信会員

## 「ニコニコBOX」

国際ローター第 2780 地区ガバナー 脇洋一郎様

本日の公式訪問宜しくお願いします。皆様とお会いすることを楽しみにして参りました



第 1 グループガバナー補佐 加藤元章様

本日は脇ガバナーの露払いで、参上いたしました。宜しくお願い申し上げます

三役 国際ローター第 2780 地区ガバナー脇洋一郎様、第 1 グループガバナー補佐加藤元章様、北クラブへようこそお出で下さいました。本日はどうぞ宜しくお願い致します

森 洋会員 脇ガバナー、加藤ガバナー補佐ようこそいらっしゃいました。公式訪問、ご苦労様です

濱田耕輔会員 脇ガバナーをお迎えして。御指導宜しくお願い申し上げます

福嶋義信会員 脇ガバナー、ご指導の程、宜しくお願い致します

石井伸二会員 脇ガバナー、本日はありがとうございます。ガバナー補佐の同期として、嬉しく、そして光栄に思っています。大変だと思いますが頑張ってください

御子柴智義会員 2780 地区脇ガバナーようこそ。本日は宜しくお願い申し上げます

千葉 茂会員 脇洋一郎ガバナー本日はようこそいらっしゃいました。御指導宜しくお願い致します。第 1 グループガバナー補佐加藤元章さん、ようこそ。お疲れ様です

小菅健史会員 脇ガバナー、加藤ガバナー補佐本日は宜しくお願い致します

伊与田あさ子会員 国際ローター第 2780 地区ガバナー脇洋一郎様、本日はご指導宜しくお願い致します

芹澤達之会員 脇ガバナー、本日はご指導宜しくお願い致します。加藤ガバナー補佐、本日は宜しくお願い致します

**ニコニコBOXの合計は 16,000 円(累計 107,000 円)**

**財団BOXの合計は 7,700 円(累計 14,088 円)**

**ご協力有難うございました。次週も宜しくお願い致します**

## 「会長あいさつ」

- ・例年にない猛暑が続いておりますが、本日はガバナー公式訪問にあたり会員の皆様には多数ご出席頂きありがとうございます  
脇ガバナーご指導の程 宜しくお願い致します
- ・ローター財団より片平会員へポール・ハリス・フェローのバッジと感謝状が届いております
- ・西日本豪雨災害募金活動を 7 月 20 日に追浜駅前で行い、120,000 円を地区へ送金できました。例会に於きましても募金箱を廻し、これからも活動を続けたいと思いますので、ご協力をお願いいたします
- ・地区大会が 10 月 13-14 日で行われます。ご参加できる会員の方は、宜しくお願い致します



## 「幹事報告」

- ◎回覧①西日本豪雨災害募金箱・財団 BOX②9月の例会出席予定回覧
- ◎配布①地区大会パンフレット

## 「スピーチ」

### 【国際ローター第2780地区がバナー脇 洋一郎氏の紹介】

#### 第1グループがバナー補佐 加藤 元章 様



生年月日：1949年10月15日生 所属クラブ：茅ヶ崎湘南ロータークラブ  
職業分類：不動産管理 職業／役職：有限会社 脇材木店 代表取締役

#### 【ローター歴】

1990年4月	茅ヶ崎湘南ロータークラブ 入会	2015-16年度地区研修委員会 副委員長
1995-96年度	茅ヶ崎湘南ロータークラブ 幹事	2016-17年度がバナーミニ
2003-04年度	茅ヶ崎湘南ロータークラブ 会長	地区戦略計画委員会 委員
2004-05年度	地区副幹事	地区危機管理委員会 委員
2006-07年度	地区ローター情報委員会 副委員長	2017-18年度がバナーエレクト
2007-08年度	地区ローター情報委員会 委員	ワッ・トント委員会 委員長
2008-09年度	がバナー補佐（第4グループ）	地区戦略計画委員会 委員
2009-10年度	地区広報委員会 委員長	地区危機管理委員会 委員
2010-11年度	地区ローター情報委員会 委員長	地区立法案検討委員会委員
2011-12年度	地区クラブ奉仕委員会 委員長	姉妹地区委員会 委員
2012-14年度	地区R財団資金推進委員会 委員長	地区ローター財団委員会委員
2014-15年度	地区研修委員会 委員	

### 【国際ローター第2780地区がバナー脇 洋一郎 様】

ご紹介頂きました。今年度がバナーを務めます脇です。どうぞよろしくお願ひいたします。

こちらの森パストがバナーとは森さんが地区研修委員会委員長の時、研修委員としてご指導を頂きました。本日は大変緊張しております

石井さんとは同期のがバナー補佐として山地がバナーの時に一年間ご一緒させて頂きました。それから国際大会に参加のたびにお世話をして頂いております

伊与田さんは本年度地区のクラブ管理運営委員会副委員長として来年3月に行われる新会員の集いの準備をして頂いております

前川さんには地区の青少年交換委員としてご協力を頂いております。

それではR Iのバリ・ラシン会長の今年度のテーマについてお話ししたいと思います。私は本年1月14日から21日までサテイエコで開催された2018年R I国際協議会に参加しました。この国際協議会の目的は、世界539の地域からがバナーエレクトを招集して、激励と意欲の喚起、次年度に向けてのR Iのテーマの説明と実施、R Iの最新の優先項目と推進活動に関する最新情報の提供を行うというものです。世界から539名のがバナーエレクトが集まるわけですが、そのうちの110名（約20%）は女性がバナーです。日本の場合には34地区ありますが女性がバナーは東京の2750地区服部陽子さんお一人だけで、世界7分の一の3%です。

日本の女性会員は2750地区は10、8%、当2780地区は10、2% これは日本で2番目の数字です。サテイエコで行われた会議で、日本参加34クラブが半分に分かれ、クラブに女性会員なしのクラブを聞いたところ8人という回答がありました。日



本の女性がバナーや女性会員をこれからもっと増やして活性化させたいと思いました。ラシン会長もそのようにおっしゃっていました。

ひとつ女性がバナーに関してレポートがごさいます。このサテイエゴのボートでエレベーターに乗りましたらインドから来ているご夫妻に会いました。私は旦那さんの方がガバナーだと思って英語で「私はインドのポリワクチン投与の奉仕で2回も行ったのですよ」と話しかけました。そしたら奥様が急に肘をぐっと張って旦那様の前に出てきて「あなたは2回もインドに来てくれたのですね。感心しました。」とおっしゃいました。実は女性の方がガバナーで、ご主人は付き添いで来ていたわけです。日本の常識ですがガバナーはご主人の方なのかなと思ってしまったのです。これから皆様も行かれる時には間違えないようにしていただきたいと思います。

到着した日の午後7時30分から本会議があり、その中でバリー・ラシンRI会長エルトからインスピレーションのテーマで講演がありました。バリー・ラシンという方はカリブ海のバハマ諸島の出身なので、テーマは波の模様、テーマカラーはオーシャンブルーを基調にしているということです。会長は次のようにおっしゃいました。私たちに与えられた責任は、1) 効果的かつ効率的に奉仕する。2) 意義ある持続可能な方法でより多くの人に変化をもたらす。3) 先人たちの活動の上に将来のための堅固な土台を築く。4) ローターの活動が成長し続け世界に役に立つようにする。この四つが重要であり、これがサテイエゴに集まったガバナーエルトに対する心得であるというお話でした。

次にビジョン声明というものを発表しました。ローターの新しいビジョン声明を作ることがインスピレーションになります。この声明は昨年6月に国際ローターの理事会で採択されたものです。このビジョン声明を地区内のクラブそしてローターの方々によく知っていただくよう指示をされました。以下がビジョン声明です。私たちローターは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。この持続可能な変化ということを非常に重要視されました。ではなぜ変化が必要なのかということですが次のように述べています。ローターの会員数はこの20年間ずっと120万人程度で低迷し会員の高齢化が進んでいます。活動を通じて変化をもたらすための知識や意欲を持たないクラブがあまりにも多すぎます。ローターが世界でどんな活動をしているかを知らず、ローターと財団のプログラムを知らないクラブや参加方法がわからないクラブもあります。ですから変化させることでこういったことを変えていくのだということだと思っております。120万人という枠組みは20年間ほぼ変わらないのですが内容が変わってきております。というのは先進国のロータークラブ、アメリカ、ヨーロッパとか日本のようなクラブは会員数が少しずつ減少していますが、その分発展途上国のアフリカ、インド、アジア、中南米でのクラブや会員数が増えている。すなわち援助する側のメンバーが少しずつ減少して、援助を要請する国々のローターが増えているということです。そういう意味では古いクラブがもっと変化をして世界に貢献できるようなクラブに変化して行ってほしいということではないかと思っております。皆さんがここにきた目的は、変化を生み出すことへの意欲をクラブ会長と地区内のローターの方々に目覚めさせるためです。もっと何かをしよう、可能性を最大限に発揮しようというやる気を引き出し、それぞれのやり方で前進できるように手助けすることが皆さんの仕事なのです（皆さんというのは当時のガバナーエルトのことですが）。そしてインスピレーションとは何かということの会長の思いをちょっと読んでみます。

バハマ人である私にとって海は常に特別なものでした。海は隔たりと繋がりの方を象徴しています。諸国の島の岸に立つ時、海の向こうの何千マイルも離れた岸に誰かが立っています。土地、国、言語は違うかもしれませんが同じ海を共有しているのです。

この繋がりを感じがインスピレーションであり、届かなそうでありながら実は思うよりもずっと近いものへの憧れです。大きなことに挑戦しようとするインスピレーションをクラブや他のロー列アンに与えてください。より良い世界を作りたいならインスピレーションから始めてください。

ロー列アンは既に30数年前から偉大なインスピレーションに基づいて活動しています。それはポリオ撲滅です。30年前ポリオウイルスにより麻痺を発症した人は毎年推定30万人でほぼ全てが子供でした。この数が3年前には74人、2年前には37人そして昨年は21人となりました。ラシン会長は今年は患者をゼロにしようとおっしゃったのですが、残念ながら今年度も既に10人ほどの発症がありました。このポリオ撲滅活動というのはロー列アンだけでスタートし、それからWHO、全米疾病センター、各国の政府機関、色々な保健機関などが活動に賛同して世界的な規模でポリオ撲滅活動が今日まで33年間続いたのです。そしてもう少しでゼロにできるところまで来たわけです。インスピレーションをしてみせるという一つのひらめきとか意志があったからこそ、このポリオ撲滅活動が今成功に導かれようとしているのだと思います。そういった意味でラシンR I会長は33年前に偉大なインスピレーションがあったことを話したのです。

私はインドで第2回と第4回のポリオワクチンの投与に参加しましたが、実際行ってみると世界中のロー列アンがこのワクチン投与の活動に参加していました。ロー列アンだけではなくロータークトもたくさん来ています。ポリオワクチンというのは温度管理が重要でして、温かくなると効力がなくなってしまうのです。ですから一番寒い時期の1月末から2月にかけてインドの全土で実施します。対象者は5歳以下の子供なのですが、インド全土で5歳以下の子供はなんと1億7500万人もいます。日本の人口の約1.5倍が対象者なのです。その子達に投与し続けたからこそインドが数年前にポリオフリー、すなわちポリオ患者がゼロになったのです。しかし、予防活動は毎年毎年続けています。3分2ぐらいの子供たちは裸足で本当に貧しい子供たちです。ある朝スラム街の中に車が入っていくと道の真ん中がぐちゃぐちゃに濡れているのです。雨は降ってないのになんで濡れているのだろうと思いました。そしたら道の両側の道端に穴が掘ってあってそこから水が噴き出しているのです。要するに皆で水道管に穴を開けて顔を洗ったりしているのです。これは盗水ですね。インドは生き物を大切にしますから牛とか犬とか馬とかいろいろな動物が排泄物を落としながら歩いています。そんなぐちゃぐちゃの中で平気で皆さん生活しているのです。それがインドのデリーの街の中ですから日本で言うと東京ですね。未だにそういった状況です。ホテルに入る時には必ず大きな門扉がありまして、その前に車が止まると警備員が全員のボディチェックと武器が持ち込んでいないか金属探知機で調べます。中に入ったら手荷物検査のベルトコンベアに自分のバッグを全部載せてXゲートで調べるんですね。空港と同じです。それからボディチェックをもう一度してホテルの中に入るのです。そういうことを実際にやっているのです。地方に行くともっと大変ですね。本当に砂埃が舞うようなところで平気で皆さんが生活しています。ある大きな病院の中に国際ロー列アンが援助をして後遺症の人たちを治す病棟を持っています。私も2回そちらの病院に行きましたけど先生方が本当に一生懸命色々な治療法で後遺症に苦しむ若い人たちを治しています。特に女の人が歩けるようにならないとお嫁にいけないということで歩けるようになるための治療とか訓練とか沢山行っていました。しかしそれらの人々はほんの一握りの幸運な人たちです。それは国際ロー列アンが援助をしたお金でやっていたんです。隣にあるインドのロー列アンクラブがバックアップして地下1階地上3階の建物には歯科医院、整体医院の他に手に職を付けるための施設がありました。そこまで援助をしているクラブのあることに驚きました。

いかにポリオが悲惨かということをおも子供のころに実感しています。その話をちょ

っとさせていただきます。私が小学四年の時ですが同じクラスに小児麻痺の子がいました。彼は右半身がほとんど動かなくてやっと歩いている状態で言葉もほとんどままならないようでした。ある日、算数の時間に先生が黒板に大変難しい式を書いたのです。誰か答えられる人はいませんかと聞いたところ誰も答えられませんでした。その時に彼が本当に震える足で黒板に歩み寄って正解を書いたのです。彼は元々素晴らしい才能の持ち主だったのですが、幼少時の時にポリオに侵されたためにこの才能を開花できなかった。残念ながら彼は病弱だったために二十歳前に亡くなりました。そんなことが世界中で35万件も起こっていたのです。それをローターが主導して今日まで減らしてきたのです。これがポリオ撲滅活動だったと思います。ではなぜポリオがなくならないのかという事なのです。今、アフリカやパキスタン・ナイジェリアにはまだ10-20人の患者がいます。ここは全てゲリラが占領している地帯なのでポリオの撲滅チームがこういうところに入っていくとアメリカCIAの手先だと思われて殺されてしまうのです。ですからお医者さんとか看護師さん技術者がたくさんこの地域で殺されています。それではなくならないのです。ポリオ撲滅は健康とか保健の課題でもありますが、それ以上に今や戦争と平和の問題であるとも言えます。ですから最後の最後までしっかりと時間とお金と労力をつぎ込んでこの活動をしていかなければならないというのが我々の考えです。その辺をご理解いただいてインスピレーションそしてポリオ撲滅、これを今年一年続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後に2780地区の方針を簡単に述べさせていただきます。6項目あります。ローターの目的は奉仕の実践です。クラブ独自又は財団の地区補助金、グローバル補助金を活用して地域社会に国際社会に青少年のために奉仕活動を実践する。ローター米山記念奨学生を積極的に支援する。2番目といたしましてRI戦略計画の推進。クラブのサポートと強化。人道的奉仕の重点化と増加。クラブレベルを超えた指導者の育成をクラブのサポートと強固のなかでは強調していますが、国際的なテーマに対して協力したりできるような体制になりましょうということです。公共イメージと認知度の向上。3番目は会員増強と会員維持。クラブ会員数は50名以上のクラブは純増3名を目標としていただきたいと思っております。そして4番目は寄付のお願いです。年次目標としては1人200ドル以上、恒久基金は1クラブ1000ドル以上、ポリオ撲滅は1人40ドル以上ということで目標を立てておりますので是非よろしくお願い致します。それから米山奨学会ですね。こちらはですね普通寄付を含めまして1名2万円以上が目標でございます。5番目がロータークラブを対象とするローター賞へのチャレンジ。RI戦略計画の三つの優先項目を推進するために各分野の三項目を達成する。そして6番目はマイローターの登録率の向上。マイローターにログインすると会員専用のコンテンツと自分のプロフィールを閲覧することができます。このサイトにはローターに関するお役に立つ情報がたくさん載っております。今年度は地区にマイローター推進委員会を設け、このマイローターへの登録普及を図っていきたくて考えております。現在、当地区の普及率は28%です。これは日本の34地区の中ではトップクラスではありますが、それでもまだ28%ですからこれを是非この倍以上に登録率を増やしていきたいと思っております。マイローターに入ることによって色々なローターに関する知識を身に付きますし、またクラブの目標設定もできます。そうしたクラブの目標設定を毎年続けていけばクラブのいろんな指標もチェックすることができますので、ぜひその点を含めましてマイローターの登録率の向上に計りたいと思っております。

以上です。雑駁ではございましたがRI会長のテーマと地区方針についてお話しさせて頂きました。ご清聴ありがとうございました